入学式　式　辞

一〇五名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。

本日は、熊谷市議会議員　景山　拓也　様　大幡地区連合自治会長　栗原　一森様、

大幡地区校区連絡会会長　志村　豊様をはじめ、多くのご来賓の皆様及び保護者の皆様には、ご多用の中にもかかわらず、平成二十八年度大幡中学校の入学式にご臨席賜り、誠にありがとうござまいす。

さて、皆さんは今日から大幡中学校の生徒です。皆さんの頭は今、さわやかに澄み切っていますか。体は健やかですか。希望と　期待と　不安と色々な思いで、皆さんの頭も心も身体も一杯だろうと思います。確かに中学校の生活は、小学校の生活とは大分違います。どんなところが違うか、たくさんあります。その中で、代表的なものを三つ話しておきます。

　まずその一つは、中学校では教科毎に先生が代わります。国語の先生、　社会の先生、数学の先生、みな違った先生が教えてくださいます。（そお、小学校では算数ですが、中学校では、数学です。）

　二つ目は、中学校には部活動があることです。二年生や三年生と一緒に運動したり、作品を作ったりする活動です。

　三つ目は、中学校を卒業する時には、皆さん一人一人が自分の進む道を決めなければならないということです。

　今、中学校が小学校と違う点を三つお話しましたが、まとめますと、中学校というところは色々な先生に教わり、大勢の友達から学び、そして、最後には、自分で自分の進む道を決めていくところです。ですから中学生として、もっとも大切なことは、大勢の人と正しいかかわり方をする、暖かいかかわり方をする、そこに大切な点があると思います。

正しいかかわり方とは、悪い誘惑には絶対にのらないということです。

暖かいかかわり方というのは、自分勝手なことはしないということです。

そのためには、教えてくれる色々な先生から、かかわってくれる色々な友達から、何でも学びとってやろう、どんなことでも勉強してやろう、そういう気持ちが大切です。

皆さん一人一人が、良い中学生になることを、私達は期待しています。今から、それぞれが頑張ってほしいと思います。

　新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます、心よりお祝い申し上げます。中学校三年間は、義務教育の仕上げの大切な時期です。私たち教職員一同は、保護者の皆様のご期待にお応えできるよう努力する所存でございますので、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

　結びに、新入生の皆さんの入学を心から祝福し、今後の活躍を期待するとともに、ご臨席の皆様のご多幸をお祈りいたしまして、入学式の式辞といたします。

　　　　　　　　　平成二十八年四月八日　　熊谷市立大幡中学校長　須藤　一郎